

# 令和への御代替り 波乱の幕開けか

令和元年 5月号 (264号)  
(皇紀2679年)

発行人 魚谷哲央  
年間購読料 2,000円

編集人 瀬戸 開

# 新風

維新政党・新風本部  
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下ル  
第2ふじビル4階  
TEL.075-708-3700 FAX.075-708-3800  
<http://shimpu.jpn.org/>  
[otayori@shimpu.jpn.org](mailto:otayori@shimpu.jpn.org)

## 党 声 明

### 御代替りを言寿ぎ奉る

近代史上始めてとなる受禪踐祚による御代替りの御慶事を言寿ぎ奉り、衷心より御祝意申し上げます。畏くも天壤無窮の神勅を戴いての皇統による継々承々たる皇位の御継承は、まさしく世界に誇るべき国体の精華と存じ上げます。近年世界の情勢が混迷を極め始めてあるなかにおいて、この令和の御代が弥益しに輝きまされる御代になりますことを頼に冀ふ次第であります。

令和元年五月一日

四月三十日の先帝の譲位礼正殿の儀、五月一日の新帝の劍璽等承継の儀・即位後朝見の儀が滞りなく行はれ、平成から令和への改元、御代替りに国民挙つての祝意が捧げられたこと、先づは慶賀申し上げる次第です。

平成三十一年間は、わが維新政党・新風の歴史でもある。平成四年に結党へむけて有志懇話会地方連合が発足し、三年半の準備段階を経て平成七年十二月九日になんとか結党大会(於・東京)に漕ぎ着けることができた。平成八年から党活動が始動し、平成十・十三・十六・十九年と参議院選挙比例代表に挑戦(比例代表二名・選挙区八名、計十名)し続けて得票も着実に増票(予定よりは大幅な遅れ)したが、平成二十二・二十五・二十八年の三回は諸事情で比例代表への挑戦は叶はず空白の十年が生じた。

本年十一月には結党八期終了の党大会を迎へるが、今夏参議院選挙への挑戦の結果如何(出馬できない場合も含め)によつて第九期の在り様

も変容することが予想される。しかし、結党以来の党是である戦後体制打破の基本方針を掲げる政党組織であることに変更はあり得ない。あり得ないどころか益々その旗幟方針を強固にしなければならぬであらう。この度の令和への御代替りにおいて安倍政権によつて為された皇位継承・皇統護持に関する政治判断は、戦後体制即ち現行占領憲法に従属する皇室の在り方を一段と顕著にした。上皇の御譲位といふ御表意を徹頭徹尾「退位」に言ひ変へ、上皇の「お言葉」を閣議決定といふ検閲下に置き、上皇への勳章を政府が授与する等、須く憲法に抵触しない様にとの軽薄極まりない仕様であり、江戸幕府以上の強圧ぶりである。終戦後に臣籍降下された宮家の復籍についても占領軍の占領政策の結果を覆すなどは毛頭考へられないとの国会答弁もあつた。

戦後レヂームとは占領政策そのものであるが、戦後レヂームからの脱却を云々する安倍政権の底意は、戦後体制の容認、そしてその強化以外  
(裏面へ続く)